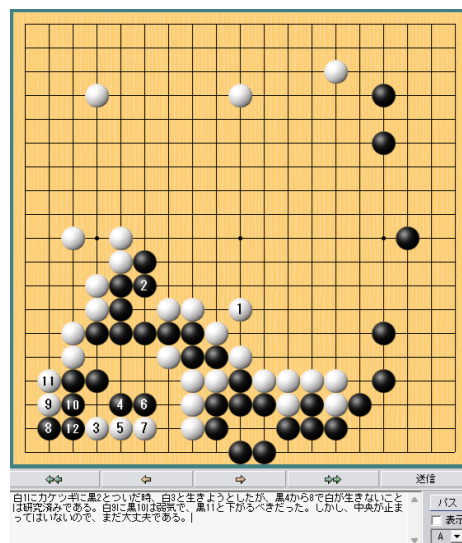


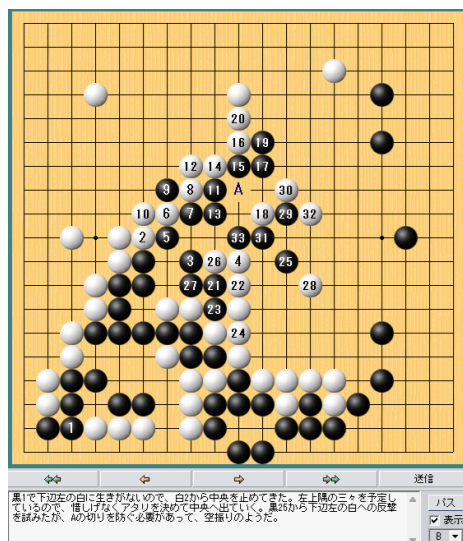
38. 下辺左側の白を捨て気味にきた時の対応（その2）

【80-1 図】 Trend136 君も 79-2 図（p.106）のように左下の白を捨て気味にきた。左上が星で始まったので、白の隅には入り易い。白 1 のカケツギに黒 2 とついで時、白 3 と生きようとしたが、黒 4 から 8 で白が生きないことは研究済みである。白 9 に黒 10 は弱気で、黒 11 と下がるべきだった。しかし、中央が止まっていなかったので、まだ大丈夫である。

【80-1 図】

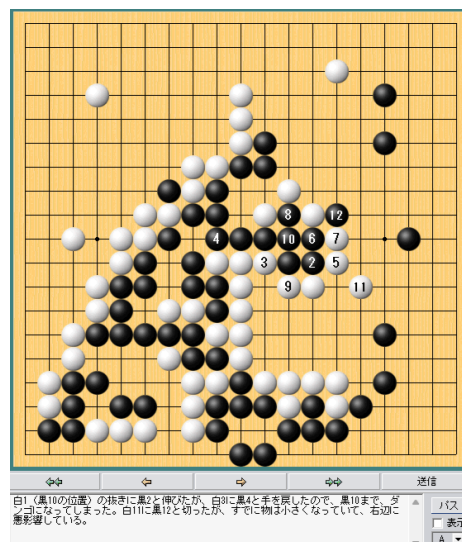


【80-2 図】



【80-2 図】 黒 1 で下辺左の白に生きがないので、白 2 から中央を止めてきた。左上隅の三々を予定しているので、惜しげなくアタリを決めて中央へ出ていく。黒 25 から下辺左の白への反撃を試みたが、A の切りを防ぐ必要があって、空振りのようだ。とにかく、先手で切り上げて、左上に入ることが重要だ。

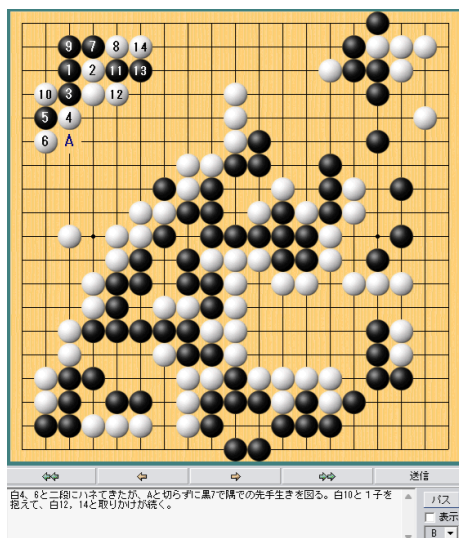
【80-3 図】



【80-3 図】 白 1（黒 10 の位置）の抜きに黒 2 と伸びたが、白 3 に黒 4 と手を戻したので、黒 10 まで、ダンゴになってしまった。白 11 に黒 12 と切ったが、すでに物は小さくなっていて、右边に悪影響している。

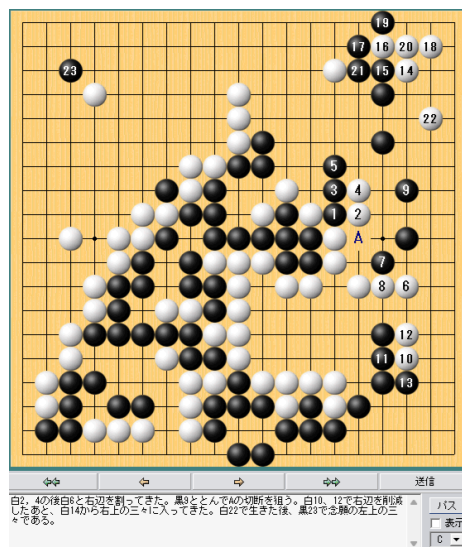
【80-4 図】白 2, 4 の後、白 6 と右边を割ってきた。黒 9 ととんで A の切断を狙う。白 10、12 で右边を削減したあと、白 14 から右上の三々に入ってきた。白 22 で生きた後、黒 23 で念願の左上の三々である。

【80-5 図】

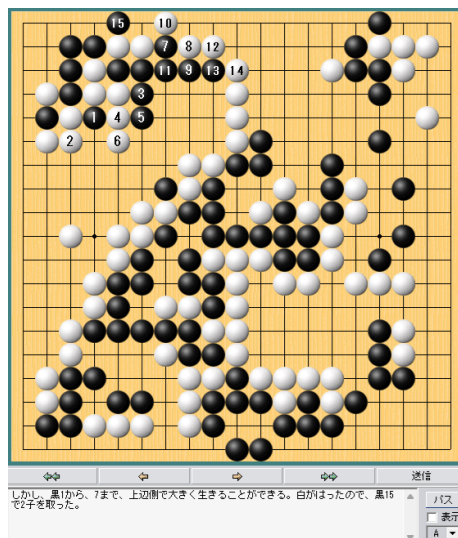


【80-5 図】白 4、6 と二段にハネてきたが、A と切らずに黒 7 で隅での先手生きを図る。白 10 と 1 子を抱えて、白 12、14 と取りかけが続く。

【80-4 図】

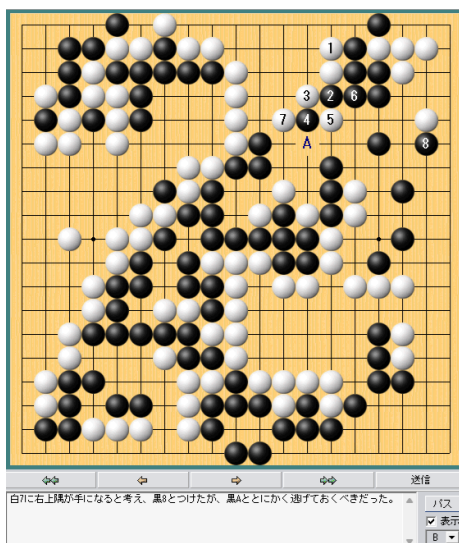


【80-6 図】



【80-6 図】しかし、黒 1 から、7 まで、上辺側で大きく生きることができる。白がはって抵抗したので、黒 15 で 2 子を取った。

【80-7 図】



【80-7 図】白 7 に右上隅が手になると考え、黒 8 とつけたが、黒 A ととにかく逃げておくべきだった。かなり、差が詰まってきたものの、かろうじて逃げ切った。最後は Trend136 君の投了となったものの、2 目程度の差であった。(以下略。248 手、黒中押勝ち。)